

イ 鉛製給水管の計画的な更新

千葉県の水道は、昭和30年代から昭和40年代に創設された事業体が多いこと、他県と比較し給水人口が多く給水戸数が多いこと等により、鉛製の給水管を使用している戸数が平成15年4月現在で約35万7千戸と全国第4位で、平成17年3月末現在で、残存する長さが計1,266kmとなっています。県営水道等23事業体において相当数が残存していることから、計画的に更新を進めていくことが課題となっています【表-1】。

また、グラフ-4で見られるように、鉛製給水管の更新は概ね着実に進められていますが、鉛製給水管の残存する23事業体中10事業体においては更新計画が策定されておらず、更新完了までに要する時間や費用が明らかとなっていないため、こうした事業体においても計画的に課題に取り組む必要があります【グラフ-4】。

* 鉛製の給水管は、鉛の溶出による健康への影響を考慮して平成4年に水質基準が強化されると共に、ポリエチレン管等への更新が進められています。平成15年には、更に基準が強化されました。

【表-1】 千葉県の鉛製給水管の使用戸数

千葉県における鉛製給水管の使用戸数は356,812戸と全国第4位の多さであることがわかります。

	鉛製管使用タイプ(戸)					合計 (戸)	全国 順位 (位)	全国に 占める 比率(%)
	公道部～ 蛇口まで	公道部～メー タまわりまで	メータまわり のみ	メータ以降 蛇口まで	不明			
全 国	326,058	3,555,047	1,925,962	169,395	315,104	6,291,566	-	-
千 葉 県	1,030	345,457	5,089	0	5,236	356,812	4	5.7
埼 玉 県	44	52,345	143,327	406	475	196,597	9	3.1
東 京 都	0	11,292	11,810	39	0	23,141	41	0.4
神 奈 川 県	2,937	194,328	570,552	790	11,000	779,067	1	12.4

* 出典：「日本水道協会調査（平成15年4月現在）」より。